

令和5年度(令和4年度実施事業分) 主要事業評価各課総括表・2次評価表

2次評価者

市民経済部産業課

市民経済部長 大山 仁志

整理No.	主要事業名	事業の評価・課題		今後の事業の方向性	
		自己評価	評価内容	方向性	内容
12-1	就農者支援事業	D	<p>県やJ A等の関係機関と連携を図り、認定新規就農者を1名確保した。また、新規就農者の農業経営を支援するための新規就農者育成総合対策事業補助金を新たに2名に交付し、合計10名に補助金交付や就農状況確認を行い、就農後の定着を図った。(離農者0名)</p> <p>農業大学校を訪問し、半田市独自の就農者向けパンフレットの配布及び半田市で就農する魅力についてPRを行った。学生からは多くの質問があり、半田市での就農に対し関心の高さを感じた。</p> <p>新たな取組として、愛知県酪農業協同組合や畜産農家と連携し、4大学のリモート講座において半田の畜産のPRを行った結果、10名の学生が畜産農家のインターンシップに参加し、就農へつながる機会の創出を図った。</p>	拡充推進	<p>引き続き、県やJ A等の関係機関と連携を図り、新規就農者の確保へつなげていく。また、新規就農者向けパンフレットを活用し、農業大学校等で半田市で就農する魅力についてPRを行う。</p> <p>さらに、就農後も将来の担い手に繋がるように、新規就農者育成総合対策事業を活用し資金面での支援を行い、離農者0名を目指す。</p>
12-2	強い農業・担い手づくり総合支援事業	B	<p>補助金交付にあたり、県と調整を図り、書類作成や進捗管理等を正確かつ迅速に行うことができた。先進的な取組であるスマート農業実践施設の整備を支援することで農業振興の推進を図ることができた。</p>	終了	
12-3	畜産環境対策推進事業	D	<p>堆肥を市外に搬出するための運搬費、消臭用コーヒー敷料の購入費、消臭薬剤の購入費等の補助を行うことで、畜産臭気に対する苦情の増加を抑えた。しかし、畜産臭気に対する苦情は無くなっておらず、更なる事業推進が必要。</p>	拡充推進	<p>畜産臭気に対する苦情は、無くなっておらず、更なる事業推進が必要。</p>
12-4	農業用ため池保全・防災減災対策事業	B	<p>防災重点ため池である午ヶ池の耐震整備工事を施工することが出来た。</p>	改善推進	<p>防災重点ため池の耐震整備の推進を加速しながら、豪雨対策整備事業も着手していきたい。</p>

整理No.	主要事業名	事業の評価・課題		今後の事業の方向性	
		自己評価	評価内容	方向性	内容
12-5	はんだふれあい産業まつり開催事業	C	<p>コロナにより令和元年度から開催できていなかったが、令和4年度は感染対策の徹底や飲食エリアの制限など、感染状況に応じた対策を講じた上で開催できた。ジブリパーク開園に合わせた井上あずみさんのライブや、元中ドラゴンズの福留孝介さんのトークショーなどを行い、幅広い年齢層の集客ができた。当日の天候（雨）により目標来場者数は達成できなかったが、本事業は地域産業を支える事業者や取組を広く市民に知っていただくための効果的な事業であり、今後もより集客性の高いイベントを計画していく。</p>	改善推進	<p>毎年多くの来場者が訪れ、半田の農商工業者等のPRの場として、産業の振興に寄与している。今後も、より集客性の高いイベントを計画し、来場者数の増加を目指す。</p>
12-6	中心市街地活性化支援事業	C	<p>商工会議所まちづくり推進室と連携し、チャレンジショップ事業の実施や、商店街等が実施する地域賑わいイベントの後方支援、知多半田駅ロータリーなどの公共空間を活用した賑わい創出の取組を行ったことで、中心市街地の商店街への集客や店舗を知っていただく機会を創出できた。また、若年層を巻きこんだ取組みを行ったことで、若年層に中心市街地の商店街を知っていただく機会となった。</p>	改善推進	<p>市長特任顧問を登用したことによる中心市街地の活性化に向けたエリアビジョンを基に、引き続き名鉄知多半田駅～JR半田駅～半田運河の区域を中心に活気づけていく仕掛けを、ハード及びソフトの両側面から、官民連携で推進していく。また、若年層を巻きこんだ活性化の取組についても検討を進めていく。</p>
12-7	知多半田駅前再開発ビル商業施設支援事業	C	<p>定着してきているワークショップや各教室、イベントの実施により日常的な認知度向上、リピーター獲得に繋がっている。また、駐車場利用客は、昨年度に比べて増加しており、年間を通じてコロナ禍前の利用客数に戻つつある。</p> <p>一方で、テナントの退去が起きている現状もあり、クラシティへ安定した集客が行えるよう、引き続き、仕掛けづくりを支援していくことが必要である。</p>	改善推進	<p>今後の中心市街地の活性化を踏まえ、エリアの顔として利用者を増加するための支援を継続的に実施していく必要がある。</p> <p>新たな層の定期的来館を目的としたワークショップや教室の実施を支援し、幅広い層の利用を促していくこと、館内テナント紹介や定番商品・季節限定商品の広報として、ホームページやSNSへの掲載に加え、紹介動画を作成し、各テナントの魅力発信を行うことにより、更なる利用促進を図っていく。</p>
12-8	商業施設助成事業	C	<p>令和4年度は、物価の高騰や原材料の品不足、コロナの先行き不透明感等の影響を受け、申請数が見込みに対して少ない結果となった。今後は、コロナが緩和したことにより経済活動が活発化していくことを見込み、中心市街地（出店促進エリア）を意識し、予算額100%執行に向けた更なる情報発信、不動産事業者へのPRなどを行っていく必要がある。</p>	拡充推進	<p>引き続き、積極的な制度活用を促し、中心市街地出店促進エリアを意識した経済活性化を図っていく。また、商工会議所と定期的に情報交換を行い、状況に応じて現行の補助要件の見直しを行っていくなど、戦略的な商業施設整備のために制度を運用していく。</p>

整理No.	主要事業名	事業の評価・課題		今後の事業の方向性	
		自己評価	評価内容	方向性	内容
12-9	中小企業金融対策事業	B	窓口である金融機関と連携し、保証料制度の周知徹底を行い、利用割合100%を維持している。	現状維持	利用率100%を継続維持する。
12-10	産業振興会議運営事業	C	委員からの意見を基に、働く人と、企業に対して、産業振興に繋がる短期、中期、長期の支援に取り組んでいくことで、半田に魅力ある企業が増え、最終的には「事業者の元気」で「半田市を元気にする」を目標とした。その目標を達成するため、短期的な取組として、事業者を元気にする重要な要素の一つである「人材」に着目し、人材獲得のための分科会を立ち上げた。また、次世代を担う若い事業者の可能性を高め、新しい発想を持ってビジネスに挑む環境をつくるため、未来志向の勉強会を立ち上げた。	拡充推進	令和5年度について、「人材獲得のための分科会」では人材に関するアンケート調査、「未来志向の勉強会」では、事業者の元気創出に向け、イノベーションや社会的な価値創造の機運を高めるため、柔軟な思考を持った未来志向の経営者等を増やすことを目的に勉強会を実施する。また、アンケート調査等の意見を産業振興会議にフィードバックしながら、事業者を元気にするための支援策を検討する。
12-11	企業立地・創業支援事業	C	先端設備等導入計画の認定件数は22件と大幅に増加したほか、企業再投資促進補助金の申請を2件認定した。起業・会社設立支援補助金については、目標値をやや下回ったが、3件を交付し創業を支援した。また、昨年度に立ち上げた臨海部工業団地アクセス道路渋滞対策勉強会を2回開催し、行政・公安委員会・臨海部工業団地内企業が実施する渋滞対策について情報共有及び意見交換を行った。することができた。市内事業者を支援するため相談を積極的に行っているが、事業拡大は社会経済情勢に大きく左右されることが課題である。	拡充推進	今後も引き続き、事業者の支援を推進し、雇用の維持・創出及び安定的な税収の増大を図るとともに、市内で企業活動を行いやすい環境を整備していく。
12-12	工業団地造成事業	B	石塚地区については、企業庁が実施する第1回用地造成事業審査会に必要な資料等を準備し、審査の結果、石塚地区を開発検討地区に位置付けることができた。今後は、第2回用地造成事業審査会に向け、審査要件を満たすための準備を関係機関と協議しながら円滑に行う必要がある。中億田地区については、工場立地に必要となる道路等の基盤整備を市が行うことを決定し、民間主導の開発を可能とする開発条例のほか、工場立地に係る敷地面積を有効に活用できる緑地緩和条例を制定した。	拡充推進	石塚地区については、工業団地の早期事業化に向け、全ての地権者から金入同意を得るとともに、関係機関等の調整を密に行い、第2回用地造成事業審査会の承認を得る必要がある。事業中億田地区については、道路等の全体整備計画の作成や地域未来投資促進法に基づく諸手続きを行っていく。

整理No.	主要事業名	事業の評価・課題		今後の事業の方向性	
		自己評価	評価内容	方向性	内容
課等長	1次評価（令和4年度の総括評価）				
C	<p>農業分野では、学生向けの就農PR活動や県、JA等の関係機関との連携により、新規就農者を確保することができた。一方、臭気対策については、事業者に対し、消臭資機材等の補助や臭気対策の指導を行うものの、臭気発生に対する根本的な改善には至っていない。今後は、新たな臭気対策として生垣等による遮閉壁について実証試験を試みると共に畜産農家に対する補助メニューを構築したい。</p> <p>産業まつりの3年ぶりの開催や商店街等が実施する地域賑わいイベント、知多半田駅ロータリーなどの公共空間を活用した賑わい創出など、コロナ対策を行いつつ事業を実施することができた。また、新たに産業振興会議を立ち上げ、「事業者の元気を創出する」ことを大きな目的とし、支援策の検討に向けた議論をすることができた。</p> <p>工業分野では、石塚地区工業団地造成事業を工程表に基づき事業を進めることができた。また、企業支援の一環として、昨年度に立ち上げた渋滞対策の勉強会では、情報共有と意見交換を行うことができた。今後も、勉強会で出た意見を参考に、官民各々ができる渋滞対策に取り組む必要がある。</p>				
部等長	2次評価（令和4年度の総括評価並びに今後の方針及び指示事項）				
C	<p>【農務担当】継続的に新規就農者の確保に努めているが、併せて今後は離農者を生じさせない適正な行政支援を検討すること。臭気対策は根本的な解決に向け、畜産業者と協力しながらさらなる事業推進を図ること。</p> <p>【商工担当】コロナ禍に加え、物価高騰等により事業者を取り巻く環境は依然厳しい状況にあるが、商業活性化イベントや補助事業の実施等により、事業者への支援をすることができた。社会変化に強い持続可能な産業を形成するため、新たに組織した産業振興会議で農商工の関係者と議論を交わしながら、必要な支援策を具現化すること。</p> <p>【企業立地担当】工業団地造成事業では関係機関との協議や地権者同意の取得など、工程表通りの進捗を図ることができた。次年度からは本格的な企業誘致に取り組み、優良企業が立地できるよう努めること。また、企業支援では、立地企業に対する補助金や工場周辺の環境改善の相談窓口となることができた。引き続き企業の成長を後押しし、さらなる本市の産業振興を図ること。</p>				